

切り口	分類	マテリアリティ	内容	KPI	目標	2022年度実績		2023年度実績	2024年度実績	関連ページ
ダイセルグループの成長と価値共創に向けたマテリアリティ	Sustainable Product 社会と人々の幸せ	美と健康への貢献	●医薬医療市場へのソリューション提供	当社キラルカラムの医薬品分析法への採用件数 ^{※1}	2025年度：95件（累計）	88件	113件	124件	コスメ・ヘルスケア https://www.daicel.com/healthcare/ メディカル https://www.daicel.com/lifesciences/	
			●サステナブル素材の化粧品原料、健康食品の提供	機能性食品素材の年間延べ提供人数	2025年度：223万人（2020年度実績2倍）	124万人	169万人	162万人		
		スマート社会へのソリューションの提供	●半導体プロセス用溶剤、レジストポリマーの提供	先端半導体製造プロセスに不可欠な安全性の高い高沸点溶剤の新商品率 ^{※2}	2025年度：23.9%	3.2%	7.7%	8.4%	エレクトロニクス https://www.daicel.com/smart/	
		安全・安心を社会へ提供	●モビリティの安全・安心を守る製品の提供	自動車一台当たりの当社安全装置の平均搭載個数 ^{※3} 多様化する小型モビリティ ^{※4} や家庭内事故 ^{※5} を防ぐ新安全デバイス上市数	2025年度：3個／台 2025年度：新安全デバイス提案 2030年度：2件	2個／台 新事業企画検討中2件	2.2個／台 新事業企画2件	2.2個／台 新事業開発推進2件	モビリティ https://www.daicel.com/safety/	
		環境に貢献する素材や技術の提供	●環境対応プラスチックなど環境負荷を低減する素材や技術の提供	製品に含まれる循環型原料 ^{※6} の使用率 環境対応型（高生分解性など）酢酸セルロースの生産量	2030年度：30%以上 2025年度：10,000～20,000トン／年	15.9% 7,993トン／年	15.8% 7,625トン／年	16.5% 8,282トン／年	環境・エネルギー https://www.daicel.com/business/purpose/eco-energy.html	
	Sustainable Process 幸せを提供する環境	循環型社会構築への貢献	●バイオマスバリューチェーン構築 ●廃棄物やCO ₂ の再利用	天然素材を利用した資源循環システムの対外的な提案数	2025年度：3件	研究開発中	1件	1件	バイオマスバリューチェーン https://www.daicel.com/bvc/	
		気候変動への対応	●生産革新、エネルギー革新、プロセス革新による、GHG排出量削減	当社グループのGHG排出量削減率 ^{※7}	スコープ1、2 2030年度：50%削減（2018年度比）	1%増加	3.5%削減	0.4%削減	気候変動への対応 https://www.daicel.com/sustainability/environment/climate-change.html	
	Sustainable People 働く人の幸せ	DE&Iの推進	●性別、年齢、国籍、障がいの有無に関わらず誰もがイキイキ働く職場の実現	女性管理職比率 ^{※8}	2025年度：10%以上	4.9%	5.6%	6.3%	ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 https://www.daicel.com/sustainability/social/diversity.html	
				障がい者3年超在籍率 ^{※8} （1-入社後3年以内に離職した障がい者数／在籍障がい者数）×100	95%以上を継続	96.0%	97.4%	100%		
		人の成長のサポート	●専門性を磨く人財育成 ●挑戦する人を後押しする仕組みづくり ●公平性が高い評価システム構築	人財育成に関する取り組み状況、人事制度見直し状況、キャリアセミナーや部門長向けマネジメント研修の導入・見直し状況 ^{※8}	実績を開示	●社員のキャリア自律を支援する体制強化 -年代別キャリア研修として、30代、40代、50代を対象とした研修を実施 -人事担当部門にキャリア支援室を設置し、社員のキャリア相談に対応 -専門能力開発プログラム（事務系社員の人財育成）を開始 -部門長を対象に外部講師によるコーチング研修を導入 -全従業員を対象としたAI教育を実施（有志） ●キャリアサポート費用の導入（3万円／人） ●上司向け研修の企画・実施			人の成長のサポート https://www.daicel.com/sustainability/social/hrd.html	
ダイセルグループの存立とガバナンスの基盤に関わるマテリアリティ	Environment 環境	環境負荷の低減	●廃棄物削減とリサイクルの促進	当社事業場および国内グループ企業の産業廃棄物の再資源化率	2025年度：99%以上	98.4%	98.0%	98.6%	廃棄物削減・リサイクル https://www.daicel.com/sustainability/environment/industrial-waste.html	
	Social 社会	保安防災と労働安全衛生	●保安事故撲滅	重大労災件数 ^{※8} 重大保安事故件数 ^{※8}	0（ゼロ）件を継続 0（ゼロ）件を継続	0件 0件	1件 0件	0件 0件	保安防災 https://www.daicel.com/sustainability/social/safety-security.html 労働安全衛生 https://www.daicel.com/sustainability/social/ohs.html	
			●クライシスアセスメントによる被害の極小化	過去トラブル（労災、保安防災）に基づいた安全教育実施率 ^{※8}	100%を継続	100%	100%	100%		
			化学品安全と品質の向上	●品質マネジメントの強化による品質不具合の再発防止 ●化学物質情報の一元管理と情報の提供	RC関連法規の監査実施率 ^{※8} 化学品規制違反件数 製品安全に起因したトラブル件数 顧客苦情への24時間以内の1次回答率 ^{※9} 顧客説明完了25日以内達成率	100%を継続 0（ゼロ）件 0（ゼロ）件 2025年度：100% 2028年度：100%	41% （2023年度からの取り組み） （2023年度からの取り組み） 88.0%	100% 0件 0件 89.0%	100% 0件 0件 87.4% 70%	化学品安全 https://www.daicel.com/sustainability/social/chemical-safety.html 品質の向上 https://www.daicel.com/sustainability/social/quality.html
		人権の尊重		●人権デュー・ディリジェンスの構築と実施 ●人権侵害の是正・救済の仕組みの構築や教育	ダイセルグループに対する人権デュー・ディリジェンスの進捗率 サプライヤーに対する人権デュー・ディリジェンスの年次計画に対する進捗率	2025年度：100% 100%継続	88.7%（2019年度～2024年度） 国内 19社／19社、海外 28社／34社 ^{※10} （サプライヤーへの人権DD実施について計画立案、実施） （国内外のサプライヤーへ人権DD実施し、課題に応じてサプライヤーをフォロー、50件を改善）	100%		人権の尊重 https://www.daicel.com/sustainability/social/human-rights.html
				働きやすい企業文化の醸成	●労働時間短縮と有給休暇取得率向上 ●柔軟な働き方への支援 ●社員の健康促進	連続休暇取得率 ^{※8} （年一回5日連続休暇） 男性育児休業取得率 ^{※8} 社員の健康促進に関する取り組み状況 ^{※8}	2025年度：100% 2025年度：100% 実績を開示	56.3% 97.9%	72.3% 89.3%	69.2% 94.1%
		●健康経営専任組織として「グループ健康サポートセンター」を設置し、社員一人ひとりのココロ・カラダの健康づくりを全社、事業場別、職場別、個人別の4つの階層で推進 ●スポーツイベントの開催など、社員に加え、家族、取引先、地域住民も含め、一人ひとりが心身ともに健康であることを目指した健康経営を推進 ●ベビーシッター補助制度を拡充 ●「育児休業とらのまき」を対象となる社員と上司に配布 ●6年連続して「健康経営優良法人（ホワイト500）」の認定を獲得 ●2年連続して「スポーツエールカンパニー」の認定を獲得								
		責任ある調達			●サプライチェーン全体のCSRレベル向上	持続可能な調達率 ＜2024年度に新規設定＞ 2024年度版SAQを実施し、当社グループ基準①を満たすサプライヤー②を100%にする ①基準点（重要9項目で4点以上、その他24項目で3点以上） ②購買金額の85%以上および重要原料の取引先（165社） ＊以下のIDKPIは2023年度に達成 ＜過去の目標/実績は()内に記載＞ 「SAQの結果、弊社基準点を満たす原燃料サプライヤーの割合」	2025年度：100%（2023年度：100%）	(79%)	(100%)	62%
		Governance ガバナンス	グループ・ガバナンスとコンプライアンスの基盤強化	●コーポレートガバナンス強化	取締役会による監督機能強化の取り組み状況 社外取締役および社外監査役による取締役会評価結果目標（満点5点）	平均4.0点以上	(2023年度からの取り組み)	4.4点	4.3点	コーポレート・ガバナンス https://www.daicel.com/sustainability/governance/ 企業倫理（コンプライアンス） https://www.daicel.com/sustainability/governance/compliance.html
					経営判断を要する重要性の高い案件に対し、法的視点よりチェック、対応がなされている率	100%を継続	100%	100%	100%	
●コンプライアンス徹底 ●リスク管理強化				ヘルプライン通報件数	実績を開示	76件	102件	126件		
	コンプライアンス違反を発見した際に迷うことなくヘルプラインに通報できると思われる役職員の比率 ^{※11} （＝ヘルプライン通報訓練を経験した社員の比率）			2025年度：100%	10%	18%（1,074名）	97%（通算5,988名）			

※1 対象…日本、米国、欧州の薬局方 ※2 安全性の高い高沸点溶剤…MMPGACなどの溶解性が高く、低毒性の電子材料用溶剤 ※3 対象…日系自動車メーカー向け製品 ※4 自転車やシニアカー、電動キックスケーターなど ※5 屋内での入浴時の溺水、乳児の窒息、転倒・転落など
※6 循環型原料…バイオマス原料、大気中のCO₂の利用、廃棄物の再使用、リサイクル 対象…ダイセル、ポリプラスチック、ダイセルミライズの主要樹脂材料 ※7 2050年 カーボンニュートラル実現（スコープ1、2、3） ※8 対象範囲…当社 ※9 対象範囲…当社国内製造拠点 ※10 グループ企業の母数は2024年4月時点の人権デュー・ディリジェンス対象候補の企業数を記載 ※11 対象範囲…当社および国内グループ企業